

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 エンチョー

コード番号 8208 URL <http://www.encho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 遠藤 健夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 長谷川 英一

TEL 0545-57-0850

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	36,751	△4.3	1,411	△7.0	1,148	△6.5	553	102.7
21年3月期第3四半期	38,404	—	1,518	—	1,228	—	273	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	40.46	—
21年3月期第3四半期	19.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	37,923	8,130	21.4	594.06
21年3月期	36,396	7,715	21.2	563.69

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 8,130百万円 21年3月期 7,715百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	7.50	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	12.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

配当金の内訳 記念配当 2円50銭

平成22年3月期第2四半期末の配当金7円50銭には、上記記念配当が含まれております。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,200	△4.8	1,240	△14.7	890	△21.6	380	205.0	27.76

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	13,714,995株	21年3月期	13,714,995株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	28,477株	21年3月期	28,177株
-----------	-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	13,686,550株	21年3月期第3四半期	13,689,146株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月11日に公表いたしました平成22年3月期の業績予想は、本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成21年4月1日～平成21年12月31日）における我が国は、景気に持ち直しの動きが見られたものの、企業収益の大幅な減少や厳しい雇用、所得環境による消費の落ち込み等依然として厳しい状況が続きました。

ホームセンター業界におきましては、市場規模が伸び悩む中、上位企業の新規出店と企業再編が進行し寡占化が加速しております。

このような状況の中、当社グループのホームセンター事業は、「お客様の来店促進・営業第一優先」を基本的目標に、本年は特に創業70周年・ホームセンター開設35周年を迎えたことから、お客様への感謝の気持ちを込めたキャンペーン等の諸施策にも取り組み、「お客様に喜んでいただける店」、「エンチャョーがあって良かったと思われる企業」を目指してまいりました。

また、引き続き「安心・安全・高付加価値」な商品の取扱い拡充に取り組むとともに、リフォーム部門では、お客様の求める快適な住まいの実現に向け、需要喚起を図るため積極的なチラシ配布や魅力ある商品の提案をし、販売力の強化に注力いたしました。

販売面につきましては、来店客数は前年とほぼ同水準で推移したものの、進行を続けるデフレの影響や購買意欲の低下により、お客様の購入単価及び購入点数はそれぞれ前年を下回りました。その結果、当第3四半期累計期間における連結グループ全体の売上高は36,751百万円（前年同期比95.7%）となりました。

また、利益につきましては、人件費や広告宣伝費を中心とした経費削減に取り組んだものの、売上高の減少を補いきれず、営業利益は1,411百万円（同93.0%）、経常利益は1,148百万円（同93.5%）、四半期純利益は553百万円（同202.7%）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、37,923百万円となり、前連結会計年度に比べ1,526百万円の増加となりました。これは、現金及び預金が2,237百万円増加したこと、新規店舗出店に伴い有形固定資産が528百万円増加したこと、長期定期預金の払い戻し等により投資その他の資産が1,189百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、29,792百万円となり前連結会計年度に比べ1,110百万円の増加となりました。これは、支払手形及び買掛金が2,182百万円増加したこと、固定資産のその他に含まれております長期未払金が741百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、8,130百万円となり前連結会計年度に比べ415百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加382百万円によるものであります。この結果自己資本比率は、21.4%（前連結会計年度末は21.2%）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度に比べ1,967百万円増加し、3,141百万円となりました。

営業活動により得られた資金は、2,936百万円（前年同期比140百万円の収入減）となりました。この主な要因は、税金等調整前当期純利益930百万円、仕入債務の増加2,170百万円によるものであります。

投資活動により使用した資金は、470百万円（前年同期比356百万円の支出増）となりました。この主な要因は、定期預金の払い戻しによる収入750百万円、有形固定資産の取得による支出1,148百万円によるものであります。

財務活動により使用した資金は、491百万円（前年同期比631百万円の支出減）となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出603百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月11日公表の平成22年3月期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

④ 法人税等及び繰延税金資産並びに繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目を重要なものに限定する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,411,764	1,174,221
受取手形及び売掛金	921,638	699,250
商品	8,538,533	8,524,106
仕掛品	—	13,298
貯蔵品	8,794	7,471
繰延税金資産	94,500	114,696
その他	372,316	615,884
貸倒引当金	△7,765	—
流動資産合計	13,339,782	11,148,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,593,877	4,896,553
土地	11,638,683	11,638,683
建設仮勘定	45,325	373,819
その他（純額）	416,421	256,653
有形固定資産合計	17,694,307	17,165,709
無形固定資産	93,114	96,981
投資その他の資産		
投資有価証券	735,568	677,302
長期貸付金	1,544,570	1,619,188
敷金及び保証金	3,138,401	3,219,292
繰延税金資産	432,351	731,700
その他	1,009,939	1,782,042
貸倒引当金	△64,771	△44,170
投資その他の資産合計	6,796,059	7,985,356
固定資産合計	24,583,481	25,248,047
資産合計	37,923,263	36,396,977
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,494,940	6,312,118
短期借入金	10,123,108	6,764,796
未払法人税等	51,768	679
関係会社整理損失引当金	27,676	—
その他	1,931,777	2,271,111
流動負債合計	20,629,270	15,348,704
固定負債		
社債	1,588,600	1,685,200
長期借入金	5,253,877	8,674,291
退職給付引当金	785,367	846,900
その他	1,535,477	2,126,774
固定負債合計	9,163,323	13,333,166
負債合計	29,792,593	28,681,871

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,902,954	2,902,954
資本剰余金	3,435,559	3,435,559
利益剰余金	1,786,449	1,403,834
自己株式	△12,428	△12,304
株主資本合計	8,112,533	7,730,043
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,135	△14,937
評価・換算差額等合計	18,135	△14,937
純資産合計	8,130,669	7,715,106
負債純資産合計	37,923,263	36,396,977

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	38,404,962	36,751,998
売上原価	27,530,727	26,343,952
売上総利益	10,874,234	10,408,046
営業収入	294,621	300,251
営業総利益	11,168,856	10,708,297
販売費及び一般管理費	9,650,839	9,296,298
営業利益	1,518,016	1,411,999
営業外収益		
受取利息	38,429	34,495
受取配当金	10,856	8,456
その他	20,255	18,733
営業外収益合計	69,541	61,685
営業外費用		
支払利息	265,961	239,486
その他	92,928	85,427
営業外費用合計	358,889	324,914
経常利益	1,228,668	1,148,770
特別利益		
固定資産売却益	595	—
特別利益合計	595	—
特別損失		
店舗移転損失	—	41,449
店舗閉鎖損失	7,577	—
投資有価証券評価損	641	736
関係会社整理損失引当金繰入額	—	43,665
減損損失	47,741	58,010
災害による損失	—	4,610
たな卸資産評価損	674,923	—
役員退職慰労金	—	70,260
特別損失合計	730,883	218,730
税金等調整前四半期純利益	498,380	930,039
法人税、住民税及び事業税	100,458	69,650
法人税等調整額	124,811	306,692
法人税等合計	225,270	376,342
四半期純利益	273,110	553,697

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	13,196,103	12,390,112
売上原価	9,611,600	8,972,317
売上総利益	3,584,502	3,417,794
営業収入	101,924	102,610
営業総利益	3,686,427	3,520,405
販売費及び一般管理費	3,187,617	3,004,874
営業利益	498,810	515,530
営業外収益		
受取利息	13,421	11,610
受取配当金	4,344	3,362
その他	3,638	3,683
営業外収益合計	21,404	18,657
営業外費用		
支払利息	88,847	79,079
為替差損	19,349	7,524
その他	28,310	10,457
営業外費用合計	136,508	97,061
経常利益	383,706	437,126
特別損失		
店舗閉鎖損失	7,577	—
投資有価証券評価損	641	—
特別損失合計	8,219	—
税金等調整前四半期純利益	375,487	437,126
法人税、住民税及び事業税	30,733	20,484
法人税等調整額	113,199	155,945
法人税等合計	143,932	176,429
四半期純利益	231,555	260,697

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	498,380	930,039
減価償却費	326,222	368,067
減損損失	47,741	58,010
店舗移転損失	—	41,449
店舗閉鎖損失	7,577	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	11,828
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△98,841	△61,532
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	△713,990
受取利息及び受取配当金	△49,286	△42,952
支払利息	265,961	239,486
為替差損益 (△は益)	129	7,980
有形固定資産除却損	19,281	14,487
売上債権の増減額 (△は増加)	△129,472	△231,134
たな卸資産の増減額 (△は増加)	87,226	△12,450
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,299,201	2,170,087
未払消費税等の増減額 (△は減少)	102,469	△30,602
その他	236,098	324,437
小計	3,612,690	3,073,213
利息及び配当金の受取額	24,549	18,946
利息の支払額	△205,064	△192,886
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△355,261	37,601
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,076,913	2,936,874
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△270,000
定期預金の払戻による収入	—	750,000
有形固定資産の取得による支出	△111,824	△1,148,565
投資有価証券の取得による支出	△100,467	△12,283
敷金及び保証金の差入による支出	△107,447	△73,267
敷金及び保証金の回収による収入	161,892	154,159
その他	43,911	129,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113,934	△470,315
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△31,000	△640,000
長期借入れによる収入	—	1,179,868
長期借入金の返済による支出	△663,568	△603,568
社債の発行による収入	300,000	—
社債の償還による支出	△440,000	△161,600
リース債務の返済による支出	△35,510	△71,848
長期未払金の返済による支出	△119,494	△32,618
自己株式の増減額 (△は増加)	△1,568	△123
配当金の支払額	△131,758	△161,144
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,122,899	△491,035
現金及び現金同等物に係る換算差額	△129	△7,980
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,839,949	1,967,543
現金及び現金同等物の期首残高	1,318,534	1,174,221
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,158,484	3,141,764

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。